



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 フィーチャ株式会社
 コード番号 4052 URL <https://ficha.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 脇 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 立花 嵩大 TEL 03-6907-0312
 定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	419	48.6	98	—	90	—	66	—
2019年6月期	282	34.3	△3	—	△5	—	△8	—

(注) 包括利益 2020年6月期 66百万円 (—%) 2019年6月期 △8百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	12.62	12.50	14.6	17.7	23.5
2019年6月期	△1.56	—	△2.1	△1.2	△1.2

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

- (注) 1. 当社は、2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 当社株式は、2020年6月24日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2020年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2020年6月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 2019年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	578	524	90.7	96.92
2019年6月期	449	386	86.0	△1.33

(参考) 自己資本 2020年6月期 524百万円 2019年6月期 386百万円

- (注) 当社は、2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	36	△18	62	419
2019年6月期	△1	△47	△5	339

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	454	8.2	100	2.2	100	10.9	70	5.9	12.81

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	5,409,000株	2019年6月期	5,259,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期	ー株	2019年6月期	ー株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	5,271,295株	2019年6月期	5,259,000株

(注) 当社は、2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	419	48.6	90	ー	83	ー	70	ー
2019年6月期	282	34.3	△17	ー	△17	ー	△17	ー

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	13.33	13.21
2019年6月期	△3.36	ー

(注) 1. 当社は、2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 2019年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	580	522	90.0	96.54
2019年6月期	440	380	86.3	△2.51

(参考) 自己資本 2020年6月期 522百万円 2019年6月期 380百万円

(注) 当社は、2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「Make Things Intelligent」をミッションに掲げ、画像認識ソフトウェアの開発を行っております。

当社グループが属する画像認識ソフトウェア業界におきましては、自動車向け先進運転支援システム（ADAS）の普及や自動運転技術の実用化に向けて、自動車関連企業各社が取り組みを強化しております。

こうした環境の中で、当社グループは新規案件の獲得及びディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を積極的に進めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高419,701千円（同48.6%増）、営業利益98,513千円（前連結会計年度は営業損失3,521千円）、経常利益90,800千円（前連結会計年度は経常損失5,531千円）、親会社株主に帰属する当期純利益66,537千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失8,203千円）となりました。

売上高の収入形態別の内訳は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	前期実績比
売上高	282,465千円	419,701千円	48.6%
うち、受託開発収入	223,550千円	285,948千円	27.9%
うち、ライセンス収入	58,915千円	133,753千円	127.0%

受託開発収入に関しては、既存顧客からの新規案件受注及び新規顧客獲得により増加し、285,948千円（前連結会計年度比27.9%増）となりました。また、ライセンス収入に関しては、ドライブレコーダー向けライセンスが好調に推移したことや、新車用車載カメラ向けライセンスが新たに発生したこと等により133,753千円（同127.0%増）と大幅に増加いたしました。

なお、当社グループは「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は527,707千円（前連結会計年度末比126,668千円増）となりました。これは主に、2020年6月の東京証券取引所マザーズへの株式上場に伴う公募増資等により現金及び預金が79,659千円増加したこと並びに売上高増加に伴い売掛金が57,343千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は50,358千円（同2,056千円増）となりました。

以上の結果、資産合計は578,065千円（同128,725千円増）となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は53,838千円（前連結会計年度末比9,096千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が18,492千円増加したものの、前受収益が24,126千円減少したこと及び借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が8,843千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は53,838千円（同9,096千円減）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は524,227千円（前連結会計年度末比137,821千円増）となりました。これは主に、2020年6月の東京証券取引所マザーズへの上場に伴う公募増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ35,880千円増加したこと並びに利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上により66,537千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ79,659千円増加し、419,513千円となりました。なお、当該増加には、現金及び現金同等物に係る為替変動による影響940千円が含まれております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は36,496千円（前連結会計年度は1,225千円の支出）となりました。これは主に、売上債権の増加57,343千円及び前受収益の減少24,126千円があったものの、税金等調整前当期純利益の計上90,800千円、非現金支出となる減価償却費の計上15,426千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18,813千円（前連結会計年度比60.2%減）となりました。これは有形固定資産の取得による支出18,813千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は62,917千円（前連結会計年度は5,012千円の支出）となりました。これは主に、東京証券取引所マザーズへの株式上場に伴う株式の発行による収入71,760千円によるものであります。

（4）今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な社会課題が発生しつつある中ではありますが、当社グループの主たる事業領域である車載カメラ市場におきましては、高齢者ドライバーによる自動車事故の増加等に伴い、先進運転支援システム（ADAS）への注目が高まっております。また、現在、世界中の自動車メーカーやIT企業が自動運転車の開発を加速させており、当社グループを取り巻く経営環境は緩やかに改善していくものと考えております。

当社グループとしては、長期的な事業拡大を視野に、ディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を促進し、新規案件の獲得に努めてまいります。

以上から、2021年6月期の売上高は、454,311千円（2020年6月期に比べ8.2%増）、営業利益は100,667千円（同2.2%増）、経常利益は100,682千円（同10.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は70,430千円（同5.9%増）を見込んでおります。

売上高の収入形態別の内訳は、以下のとおりであります。

	2020年6月期実績	2021年6月期予想	前期実績比
売上高	419,701千円	454,311千円	8.2%
うち、受託開発収入	285,948千円	260,810千円	△8.8%
うち、ライセンス収入	133,753千円	193,501千円	44.7%

受託開発収入に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部顧客の開発予算縮小が懸念されていることから、減収を見込んでおります。また、ライセンス収入に関しては、量産済みのドライブレコーダー向けライセンスが引き続き好調に推移することが見込まれることに加え、大手自動車メーカーの新車向け車載カメラ案件の量産開始を予定していることなどから、増収を見込んでおります。

なお、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大が収束していないことから、先行きについては見通しが非常に難しい状況であります。業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものでありますが、今後業績に影響を与える要因等が発生した場合には業績予想の修正を公表する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、国内の企業間での比較可能性を考慮し、会計基準については日本基準を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	339,854	419,513
売掛金	43,398	100,741
仕掛品	5,191	1,076
前払費用	9,249	6,375
未収還付法人税等	3,344	—
流動資産合計	401,038	527,707
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,809	11,809
減価償却累計額	△2,299	△6,240
建物（純額）	9,510	5,568
工具、器具及び備品	15,025	33,806
減価償却累計額	△4,136	△15,589
工具、器具及び備品（純額）	10,888	18,217
有形固定資産合計	20,398	23,786
投資その他の資産		
敷金及び保証金	25,854	21,753
長期前払費用	2,048	1,643
繰延税金資産	—	3,174
投資その他の資産合計	27,903	26,572
固定資産合計	48,301	50,358
資産合計	449,340	578,065
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	8,843	—
未払金	11,594	10,197
未払法人税等	1,517	20,010
未払消費税等	4,995	15,587
前受収益	26,353	2,227
その他	9,631	5,814
流動負債合計	62,935	53,838
負債合計	62,935	53,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,000	248,880
資本剰余金	196,690	232,570
利益剰余金	△22,545	43,992
株主資本合計	387,144	525,442
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△739	△1,214
その他の包括利益累計額合計	△739	△1,214
純資産合計	386,405	524,227
負債純資産合計	449,340	578,065

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	282,465	419,701
売上原価	92,447	119,135
売上総利益	190,017	300,565
販売費及び一般管理費	193,539	202,052
営業利益又は営業損失(△)	△3,521	98,513
営業外収益		
受取利息	12	15
雑収入	2	36
営業外収益合計	15	51
営業外費用		
支払利息	127	3
株式公開費用	—	6,184
為替差損	1,897	1,575
営業外費用合計	2,025	7,764
経常利益又は経常損失(△)	△5,531	90,800
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△5,531	90,800
法人税、住民税及び事業税	2,672	19,855
過年度法人税等	—	7,581
法人税等調整額	—	△3,174
法人税等合計	2,672	24,262
当期純利益又は当期純損失(△)	△8,203	66,537
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△8,203	66,537

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△8,203	66,537
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△417	△475
その他の包括利益合計	△417	△475
包括利益	△8,621	66,061
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△8,621	66,061

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	213,000	196,690	△14,342	395,347	△321	△321	395,026
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△8,203	△8,203			△8,203
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					△417	△417	△417
当期変動額合計	—	—	△8,203	△8,203	△417	△417	△8,621
当期末残高	213,000	196,690	△22,545	387,144	△739	△739	386,405

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	213,000	196,690	△22,545	387,144	△739	△739	386,405
当期変動額							
新株の発行	35,880	35,880		71,760			71,760
親会社株主に帰属する当期純利益			66,537	66,537			66,537
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					△475	△475	△475
当期変動額合計	35,880	35,880	66,537	138,297	△475	△475	137,821
当期末残高	248,880	232,570	43,992	525,442	△1,214	△1,214	524,227

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	△5,531	90,800
減価償却費	5,195	15,426
敷金償却	2,352	4,033
受取利息	△12	△15
支払利息	127	3
為替差損益（△は益）	1,897	464
売上債権の増減額（△は増加）	△30,890	△57,343
たな卸資産の増減額（△は増加）	9,654	4,114
未払金の増減額（△は減少）	4,092	△1,396
前受収益の増減額（△は減少）	26,353	△24,126
その他	△1,869	15,632
小計	11,370	47,594
利息の受取額	12	15
利息の支払額	△127	△3
法人税等の支払額	△12,480	△11,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,225	36,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,841	△18,813
敷金及び保証金の差入による支出	△27,657	—
その他	3,264	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,235	△18,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,012	△8,843
株式の発行による収入	—	71,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,012	62,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,315	△940
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△55,788	79,659
現金及び現金同等物の期首残高	395,642	339,854
現金及び現金同等物の期末残高	339,854	419,513

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、現時点で当社グループに及ぼす影響及び新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難ですが、顧客企業、その他外部からの情報等から、翌連結会計年度にわたり新型コロナウイルス感染症の影響が継続するという一定の仮定に基づいて、当連結会計年度の繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。これらの見積りの前提とした条件や仮定に変更が生じた場合、翌連結会計年度以降の連結財務諸表において、繰延税金資産の調整が必要となる可能性があります。

（セグメント情報等）

当社グループは、画像認識ソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）	当連結会計年度 （自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）
1株当たり純資産額	△1.33円	96.92円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）	△1.56円	12.62円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	12.50円

- （注）1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 2019年11月30日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）	当連結会計年度 （自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△8,203	66,537
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△8,203	66,537
普通株式の期中平均株式数（株）	5,259,000	5,271,295
（うち普通株式数（株））	(4,080,000)	(5,271,295)
（うちA種優先株式（株））	(546,000)	(—)
（うちB種優先株式（株））	(633,000)	(—)
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	—	49,963
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回新株予約権、第2回新株予約権、第3回新株予約権、第4回新株予約権	—

(重要な後発事象)

第三者割当増資による新株式の発行

当社は、2020年5月21日及び2020年6月8日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社が当社株主である脇健一郎より借入れた当社普通株式の返却を目的として、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を下記のとおり決議し、2020年7月29日に払込みが完了しております。

(1) 発行株式数	普通株式 87,000株
(2) 払込金額	1株につき399.50円
	払込金額は会社法第199条第1項第2号所定の払込金額であり、割当先より払い込まれる金額は割当価格（東京証券取引所マザーズへの株式上場に伴い発行した株式の募集並びに株式の売出しの引受価額と同額）となります。
(3) 払込金額の総額	34,756,500円
(4) 割当価格	1株につき478.40円
(5) 割当価格の総額	41,620,800円
(6) 増加する資本金及び資本準備金	増加する資本金1株につき239.20円
に関する事項	増加する資本準備金1株につき239.20円
(7) 割当先及び割当株式数	SMB C日興証券株式会社 87,000株
(8) 払込期日	2020年7月29日
(9) 資金の使途	ディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を促進して認識精度や実装性といった技術力を向上させること及び増加が見込まれる受託案件に対応できる開発体制の構築のための人件費及びエージェント利用料や紹介料等の採用費に充当する予定であります。